

平成二十四年第五回人吉市議会定例会の初めに当たりまして、市政に対する所信を申し述べる機会を与えていただき、誠にありがとうございます。

去る七月十二日から十四日にかけて発生しました九州北部豪雨におきましては、各地で観測史上第一位の雨量を記録するなど、猛烈な雨に見舞われました。県内でも、阿蘇市を始めとする北部では、深夜から早朝にかけて一時間に百ミリを超える猛烈な雨が続き、大規模な土砂災害や河川の氾濫による浸水被害が発生しております。この災害によつて県内で二十三人の方が亡くなり、二人の方が未だ行方不明となっているほか、今なお仮設住宅生活を余儀なくされている方がいらつしやるなど甚大な被害となりました。この場をお借りしまして、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害に遭われた方々へ心からお見舞いを申し上げる次第でございます。

今回の災害に対して、国は激甚災害に指定し、復旧の後押しをすることを決定しておりますが、近隣自治体である本市といたしましては、人的支援など可能な限りの支援をしたいとの思いから、七月十九日に市職員二十二名、二十日に同じく二十一人を阿蘇市に派遣し、災害ボランティアセンターを通じて依頼された一般住宅の泥出しや清掃、片づけなどの作業に従事してまいりました。また、七月二十二日の日曜日には、人吉市消防団丸尾団長を始め三十二名の団員を阿蘇市へ、七月二十七日には菊池市に市職員二十二人を派遣し、一般住宅の泥出しや清掃作業を行っております。

市職員などによる公的支援の一方で、人吉市社会福祉協議会では、本市の災害救援ボランティア養成を兼ねまして、第一弾としてボランティア登録者と社協職員を二日間で十九名、阿蘇市へ派遣いたしました。その後、第二弾といたしまして、夏休み期間中の高校生や一般のボランティアを募り、計五回にわたり高校生四十名、一般市民三十四名、職員十一名、合計八十五名のボランティア派遣を実施しております。

いずれの被災地も、被害状況の把握と被災者からの支援ニーズの把握に時間を要し、災害ボランティアの募集と受け入れに関しても相当な苦労があったとのことでございます。今回の市職員及び人吉市災害救援ボランティアの派遣を通じて災害現場の実情に触れ、災害発生からいかに迅速に被害状況やボランティア募集の情報を発信することが大切かを学ぶことができました。今後、本市が万が一被害を受けた場合の教訓として生かしてまいり所存でございます。

人吉球磨地域でも相当の雨を降らせたこの前線は、五木村や相良村、球磨村にも斜面や道路の崩落を引き起こしております。本市におきましては、球磨川の増水も幸いにして氾濫のおそれがある水位まで達することはなく、心配された土砂災害も人や家屋への被害は発生しておりません。しかしながら、今後とも台風の接近、上陸などが考えられますので、予報、予測に基づく早めの避難の呼びかけや、緊急速報メールなどを利用していち早く防災情報を発信するなど、引き続き万全の態勢で警戒にあたつてまいりたいと存じます。

防災関係でございますが、去る九月二日の日曜日に、人吉市総合防災訓練を、大畑小学校グラウンドをメイン会場に実施いたしました。本市では、例年、出水前に水害及び土砂災害対応型の防災訓練を実施しているところでございますが、今回の訓練に関しまして

は、昨年から関係機関と協議を進める中で、震災対応の訓練に臨みたいとの意見がございましたので、大規模な地震を想定し、防災の日である関東大震災のあった九月一日に近い日での訓練開催を計画いたしました。今回も「防災関係機関及び住民との連携強化」、「住民の防災意識の高揚」、「防災関係機関職員的能力向上」を目的として、消防団、消防本部を始め陸上自衛隊第八特科連隊第二大隊、人吉総合病院及び災害応援協定を締結している企業団体など多数の関係団体のご参加のもと、倒壊家屋救助、車両救助、建物屋上に取り残された方の救助など、本番さながらの訓練を実施することができました。また、大畑校区町内会のご協力もございまして、多くの住民の皆様方にも避難訓練に積極的な参加をいただきましたことに厚くお礼申し上げます。

今回の防災訓練は、東日本大震災や九州北部豪雨災害の後でもあり、地域の防災に対する関心の高さと行政の責務の大きさを再認識したところでございます。今後も行政と市民の皆様が一体となった防災対策の推進を図り、安全・安心なまちづくりに取り組んでまいりますと存じます。

消防関係でございますが、去る八月二十六日に天草市で開催されました第二十九回熊本県消防操法大会に、本市消防団第三方面隊第四分団第三部が出場いたしました。結果は目標としていたタイムに届かず、参加二十八チーム中九位でございましたが、選手四人は一糸乱れぬすばらしい操法を披露してくれました。夏の暑さにも負けず、全員一丸となって過酷な訓練に取り組んでまいりまして、選手はもちろん、サポートしてきた団員個々の鍛錬と、強固な団結力、そしてたゆまぬ努力に対し、改めまして深甚なる敬意を表するとともに、日頃の労苦に心からねぎらいの言葉を申し上げます。また、これまで団員を支えていただきましたご家族を始め団員が勤務する事業所の方々、並びに人吉下球磨消防組合、人吉市消防団、そして、応援していただきました市民の皆様に対しまして、心から感謝とお礼を申し上げる次第でございます。

交通安全関係でございますが、八月に入りましてから、残念ながら二件の死亡事故が発生いたしました。いずれの事故もドライバーから見て右側から左側へ道路を渡ろうとする自転車や歩行者と接触しておりまして、運転者の前方不注意が原因とみられます。本市といたしましても立て続けに起きた死亡事故を重く受け止め、人吉警察署と協議した上で、八月二十三日に「交通死亡事故多発警報」を発令いたしました。十日間の警報発令でございましたが、注意喚起のチラシ配布のほか、警察、交通安全協会、人吉市交通指導員会による交差点付近の警戒や、パトカー及び交通指導車による巡回指導など、各関係機関ともに総力を挙げた取組を実施してまいった次第でございます。

また、平成二十四年秋の全国交通安全運動が、九月二十一日から三十日までの十日間実施されます。今回も、「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基本に、「夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止」、「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」と「飲酒運転の根絶」に重点的に取り組んでまいります。併せて、車両も歩行者もお互いに思いやりと譲り合いの心で接する「相手に優しい交通マナー」の向上を促してまいります。

なお、この運動のオープニング行事として、来る九月二十一日に、人吉城跡ふるさと歴史の広場において出発式を行います。期間中は、街頭パトロールを中心に交通事故撲滅に努めてまいりたいと存じますので、関係機関並びに市民の皆様方のより一層のご協力をよろしく願います。

男女共同参画関係でございますが、例年、意識啓発のための作品募集を行っておりますが、本年度も「一枚のはがきからの男女共同参画」と題し、絵手紙など自由な作品を募集しましたところ、市内小・中学生を始め高校生、市民の皆様から一千三百九十五点もの応募がございました。このことは人権教育にもつながるものであり、男女共同参画社会づくりへの意識が着実に広がっていることを実感しているところでございます。最優秀作品及び優秀作品につきましては、市庁舎及び各校区のコミュニティセンターを巡回して展示いたしますので、ぜひご覧いただきたいと存じます。

また、人吉市男女共同参画推進計画に基づき、各事業所における男女共同参画の取組を支援するため、「企業トップセミナー」を明日九月五日に開催いたします。講師に、社員が働きやすい職場環境づくりに早くから取り組まれている辛子明太子を製造・販売する博多の老舗企業「株式会社ふくや」の代表取締役社長 川原正孝氏をお招きし、市内各事業所代表者の方などを対象に、「人を活かす経営」と題して講演いただきます。今後も、男女がともに仕事と家庭生活あるいは地域活動などを両立しながら充実した人生を送ることができますように、事業所における積極的な取組支援を進めてまいりたいと存じます。

「家族の時間づくりプロジェクト」でございますが、十月六日の土曜日から八日の体育の日をさみ九日の火曜日までを四連休とするプロジェクト実施まで、あと一箇月余りとなりました。地域ぐるみで家族の時間を創出するため、現在、事業所や各団体への有給休暇取得の働きかけ、ポスター・チラシによる周知・啓発活動を行いながら、更なるご理解とご協力を賜りますよう努めているところでございます。

おくんち祭りの神幸行列が行われる十月九日を学校休業日にしたことで、子どもたちには地域の伝統文化への理解を深める機会を与えらるるとともに、楽しい家族の時間を過ごしてもらうため、本市におきましても人吉城歴史館親子学習会の開催を始めプラネタリウムの無料観覧や図書館映画鑑賞会などを実施いたします。また、人吉市体育協会や人吉鉄道観光案内人会の皆様のご協力により、中学生卓球教室や「SL人吉」親子教室なども計画されております。

旧中津留美術館跡整備事業でございますが、本年三月の周辺建物事前調査から建物の解体工事及び整備工事を進めてまいりましたが、クローバーの養生に思いのほか期間を要し、九月一日から城見庭園として、市民の皆様にご利用いただいているところでございます。工事期間中は、騒音や振動など、周辺の皆様方にご迷惑をおかけいたしましたことを心からおわび申し上げます。今後は、市民の皆様や観光でお越しの方々にも、球磨川と対岸の城跡を望む素晴らしいロケーションの庭園として、親しんでいただけるものと存じます。

県南地域活性化関係でございますが、熊本市政令指定都市への移行を千載一遇のチャンスと捉え、宇城及び天草地域も含めた県南地域の自治体が抱える共通する課題の解決に向けて、共同で取り組み、地域活性化を図るとともに、地域間交流や情報発信などを行い、豊かな地域資源をいかした魅力ある地域づくりの推進を図ることを主眼として、本市を含

めた七市において「県南・宇城・天草地域活性化協議会」の設立に向けて鋭意準備を進めているところでございます。

当協議会は、経済のグローバル化などの社会潮流の変化を見据えつつ、経済浮揚に資する事業や、新たな雇用創出に資する事業など、本地域が当面する共通課題についての情報交換と連携方法の検討、さらには活性化推進のための調査研究を行う組織でございます。本市といたしましても本地域の浮揚のため、関係自治体と連携を図りながら、協議会設立に向けて積極的に推進してまいりる所存でございますので、議員各位、さらには市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

庁舎建設関係でございますが、さきの東日本大震災の教訓を踏まえ、市庁舎は高い耐震性や安全性を要し、電気や水道などのライフラインが途絶えた場合でも災害時の拠点として機能し続ける災害に強い建物の必要性を認識しているところでございます。加えまして、現在の庁舎は昭和三十七年に建設されており、本年度で耐用年数といわれる五十年を迎えます。このような状況を踏まえ、庁内の関係する部長及び課長で構成する市庁舎移転建設研究委員会におきまして、新庁舎建設に向けた具体的な検討を速やかに行ってまいりる所存でございます。同時に、新市庁舎建設のための財源につきましても市有地の売却収入分などを人吉市庁舎建設等基金として積み立ててまいりたいと存じます。

公共交通関係でございますが、本年二月に開催されました人吉市地域公共交通会議で決定されました内容に基づきまして、来月より市内完結型路線バスのうち鹿目線、東間経由と西間経由の田野線、下田代線及び山江線の四方面五路線の路線バスを廃止いたしました。予約型乗合タクシーを導入してまいります。予約型乗合タクシーは、これまでのバス路線をバスに代わってタクシーが走行するものでございまして、これまでのバス停で乗降していただき、これまでと同じバス料金でご利用いただけるものでございます。事前の電話予約により、予約があった運行時刻のダイヤで予約があった区間のみを走ることとなりますが、これまで各路線ともに一日三往復から五往復の運行ダイヤであったものを、概ね一時間一本の運行ダイヤに増便いたしますことから、利便性は向上するものと存じます。今回の予約型乗合タクシーの導入により、路線バスの赤字補てんとして支出しております人吉市バス運行対策費補助金の削減を図るとともに、今後はバス路線空白地帯への新規の公共交通対策を始め地域公共交通全般の効率・効果的な見直しも併せて検討してまいりる所存でございます。

高齢福祉関係でございますが、今月は敬老月間でございます。長寿をお祝いするとともに、高齢者の皆様がますます健康で元気に過ごしていただくことを目的に、延寿荘などの老人ホーム施設でのあんま・マッサージの無料奉仕や、老人ホーム利用者の方々へのお祝い訪問、さらには、老人福祉センターの無料開放と金婚ご夫婦の表彰式などを行うほか、各町内会におかれましてもお祝いの会が開催されるようでございます。九月一日現在、本市には百歳以上の方が二十六人おられ、さらに、今年度中に百歳に到達される方が四人いらっしゃいます。皆様方には心からお喜び申し上げます。

本市の高齢化率は今年、四月末日に三十パーセントに到達し、七月末日現在では三十・

○三パーセントとなっております。今後ますます進展してまいります超高齢社会に伴いまして、本市を取り巻く環境は急速に変化していくものと予想されますことから、高齢者対策は本市の実情に即しながら、多角的かつ包括的な新たな展開を求められております。今後とも、高齢者の方々が健康であることや日々の暮らしの安心を実感でき、「笑顔があふれ、幸せいっぱい健康福祉都市ひとよし」を推し進めるべく、より一層の努力をしてまいりますと存じます。

農業振興関係でございますが、秋の味覚として多くの皆様に愛され本市を代表する農産物の一つであるクリにつきましては、ここ数年の出荷量、平均単価を調査し、隣接する球磨村、山江村と比較しましたところ、天候などの影響で毎年変動があるものの、単位収穫量及び平均単価のいずれも劣っていることが確認されました。その原因といたしまして、市内にある栗園約二百四十五ヘクタールのうち約八割の二百ヘクタールのせん定が行われていない実態であることから、その対策として、「人吉市クリせん定作業支援補助金」を創設し、クリの低樹高せん定を実施することで、クリの品質向上とクリ生産者の経営安定を支援してまいり所存でございます。

地産他商関係でございますが、農産物などのPRと販路拡大を兼ねましたイベントといたしまして、本市出身の方が経営されております福岡市内の居酒屋五店舗において、九月一日から一箇月間、人吉球磨の農産物や加工品を使用した料理と球磨焼酎による「人吉フエア」を開催していただいているところでございます。また、昨年好評でございました人吉球磨の農産物や加工品、物産などの販売及び観光PRを目的といたしました「人吉球磨の味めぐり in 東京都庁」を、昨年に引き続き本年も十一月十四日から二十日までの七日間、東京都庁内において開催いたします。両イベントとも大都市での開催となりますので、地域在住の方はもちろんのこと、多くの観光客の皆様にも地元農産物や物産品を購入していただくとともに「人吉球磨」の名をPRすることで、今後の農産物などの販路拡大及び地域の活性化につなげてまいりたいと存じます。

農林整備関係でございますが、去る七月二十三日、二十四日に妨害物件撤去土地明渡し請求事件の工作物収去の強制執行を行ったところでございます。この事件は、上戸越町字草津の市有林内において個人により工作物が違法に建築してあったことから、その土地の明渡しを求めて平成二十二年三月三十一日に熊本地方裁判所人吉支部へ提訴を行っていたものでございます。その後、平成二十三年一月十二日に本市の勝訴が確定し、再三に渡り土地明渡し請求を行ってまいりましたが、工作物の撤去が行われず、今回の強制執行に至ったものでございます。今後の処理につきましては、熊本地方裁判所人吉支部と協議を行いつながりながら対応を進めてまいりたいと存じます。

商工関係でございますが、熊本県広域連携プロジェクト（スクラムチャレンジ）推進補助金を活用しまして、「重点港湾」八代港を活用した県南連携観光客誘致・物産振興事業を計画しております。来る十月二十日、二十一日に中国人観光ツアーの豪華客船「コスタ・ビクトリア号」が八代港へ寄港し、本市へのオプショナルツアーも予定されておりますので、これを契機に県南の八代、水俣及び本市がスクラムを組みまして地域活性化事業を展

開するものでございます。内容といたしましては、八代港での県南物産展の開催、中国・上海での見本市「ニッポン・エキスポ」への出展、さらにはクルーズ船定期就航に向けた海外セールス活動の三事業を実施いたします。県南振興においては、国際交流、アジア貿易の先駆けとなり、観光客誘致及び物産の販路拡大につながることを期待されるところでございます。

人吉中核工業用地でございますが、今般、東日本大震災による関連企業の業績悪化、電力不足、円高、さらには欧州経済危機を始めとする社会経済動向などによりまして、本市への企業進出が見込めないという状況となり、早急なる事業方針の見直しを迫られた次第でございます。有効面積二十ヘクタールの工業用地を必要とする全体造成整備計画につきましては、断念せざるを得ないという厳しい決断となり、去る七月に九州農政局に対しまして「農地転用許可申請を行わない旨の申出書」を提出いたしました。地権者及び地元住民の皆様には整備計画見直しの概要について説明会を開催し、現市有地を活用した新たな工業用地整備事業へのご理解ご協力をお願い申し上げたところでございます。今後は、見直しに伴う詳細設計などを実施しまして、用地規模、立地条件に適した企業誘致による雇用創出に全力を傾注してまいりたいと存じます。

観光関係でございますが、九州北部を襲った集中豪雨による被害で、運休を余儀なくされていた九州旅客鉄道株式会社の観光列車「あそぼーい」が、七月二十八日から九月二日までの間、博多・人吉間を毎日往復運行され、連日小さな子どもさんのいるご家族にお願いいただきました。阿蘇地方の被災は夏休み期間と重なり、本県の観光にとって大きな打撃となりましたが、このような緊急事態にこそ被害が少なかった本市を始めとする県南地域の観光が元気を出すことで、風評被害などの払しょくに努め、本県全体の観光を盛り上げていくことが肝要だと存じます。今後は、秋の観光シーズンに向けて観光関連業界の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

人吉球磨が一体となって推進をしております人吉球磨旬夏秋冬キャンペーンでございますが、今年もカップパ搜索隊という人吉球磨をフィールドとした夏休み企画を、一箇月に及ぶモバイルラリーとして実施いたしました。携帯電話などを使ってカップパの目撃情報を届けた人にポイントを加算していき、ポイントに応じたプレゼントを行うというゲーム方式の事業でございます。熊本県、各市町村のほか、多数の関係事業所が連携する形で展開してまいりました。人吉球磨全域に出没する幻のカップパを探すという活動を通して、多くの皆様に人吉球磨の夏、さらには大自然を満喫していただけたものと存じます。

去る八月十五日、五十八回を数える人吉花火大会を中川原公園及びふるさと歴史の広場をメインの観覧場所として開催いたしました。旧盆に実施するのは三年振りでございます。夏の終わりを告げる歳時として、市民の皆様はもとより、帰省されている方々、市外からの多くのお客様にも、球磨川の上空を彩る五千発の花火をご堪能いただけたものと存じます。昨年に引き続き「夏目友人帳」を題材にして特別に制作していただいたポスターを使用いたしました。ポスターを公開した直後からインターネット上などでも話題となり、反響の大きさに驚きつつ、花火大会とアニメツリーズムの両者を地域内外にPRする

という一定の目的が果たされたものと喜んでおります。これを機に、懐かしさあふれる日本の夏を提供できる観光都市として、さらにホスピタリティを高めてまいりたいと存じます。今回の花火大会の開催に当たりご協力をいただきました、関係各団体の方々、心からお礼申し上げますとともに、ご協賛いただきましたスポンサー各社と関係各位に深く感謝申し上げます。

今回で第八回を迎える秋のじゅぐりつと博覧会でございますが、本市を訪れる観光客の皆様を街中へと誘い、地域の皆様と共に作り上げるおもてなしイベントが九月十六日から始まります。今回は、原点に立ち返り、観光客の誘客とおもてなしの向上にこだわった事業を展開してまいりたいと存じます。期間中は、球磨郡にまで行程を広げた相良三十三観音めぐりウォーキング大会をはじめ、夏目友人帳をテーマにアニメツアーリズムと連動した事業企画、歴史遺産を活用した音楽イベントなど、様々な要素を加味しながら、新たな試みによる事業を計画しているところでございます。「人吉の特色を最大限に生かした魅力あるおもてなしイベント」を民間と行政が一体となつて取り組むことで、この事業を活用した本市観光の受け皿づくりにまい進してまいりたいと存じます。

くま川下り関係でございますが、三年四箇月の間、代表取締役社長として鋭意ご尽力をいただいた中村日嗣郎氏の退任に伴い、八月九日に開催された取締役会議において、人吉市長 田中信孝が新しい代表取締役社長に推挙されました。中村前社長の辞意を受け、会社の新しいかじ取り役を地域の経営者から始まり、公募に至るまで探してまいりましたが、適任者を見い出すまでに至らず、暫定措置ではございますが、代表取締役をお引き受けした次第でございます。くま川下りという本市観光を支えてきた宝を地域文化としても次世代へ継承し、発展させていくことが我々の責務ではございますが、事業を取り巻く環境には非常に厳しいものがあり、今般の社会情勢の中で舟下りを存続させていくためには、関係者の相当な決意といったものが試されているものと認識をしているところでございます。会社の総力をもって臨む改革などにつきましても、議員各位を始め市民の皆様のご厚情をもつてご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

土木関係でございますが、社会資本整備総合交付金事業で進めます岩本中神線の改良工事につきましては、平成四年度に着手し長期にわたって事業を進めてまいりましたが、平成二十四年度の工事をもちまして完了いたします。また、下林南願成寺線の薩摩瀬地区、紺屋町東間線の紺屋町地区、中青井第一号線の中青井地区の改修につきましては、来年度からの工事実施に向け測量設計を実施してまいります。そのほかの社会資本整備総合交付金事業で進めます上林中神線舗装補修工事外四路線の維持補修工事につきましても昨年度に引き続き工事を実施してまいります。

そのほか、生活関連道路として整備を実施しております後村大坪線、人吉球磨広域行政組合より受託事業として進めております城本荒毛線の改良につきましては、本年度に完了する計画で進めているところでございます。

都市計画関係でございますが、街路事業として人吉インターチェンジから通称フルーテイロード交差点付近までの整備に取り組むために、国の事業認可に必要な事務手続きを

進めておりましたが、先般、街路事業の事業認可をいただきましたので、本年度から本格的に事業に取り組んでまいりる所存でございます。なお、本年度の計画いたしましたは、現在、地権者並びに地元の皆様への事業説明会を終了したところでございまして、今後、補助金交付申請を行い、できるだけ早い時期に、詳細設計、用地測量、建物調査などの業務委託を発注してまいりたいと存じます。地権者の皆様を始め市民の皆様には、事業の趣旨をご理解いただき、何とぞご協力賜りますようお願い申し上げます。

学校教育関係でございますが、「夏休みパワーアップ教室」を、七月二十三日から三十一日までの七日間、市内の六小学校を会場に実施いたしました。受講者は、市内小学校三年生の希望者二百二十二人で、昨年よりも希望者が増加しており、大変うれしく思っているところでございます。指導は、学習サポートとしまして教員免許を有する二十九人の先生方、さらに学習サポート補助としまして地域の方七人、球磨工業高校生八人、球磨商業高校生二人の計十七人の方に協力をいただきました。

子どもたちは、学習サポートの指導の下、市教育委員会で準備いたしました学校の授業で学んだ範囲の国語と算数の問題集を一生懸命に解き、基礎学力の定着と向上を図ることができたとのことでございます。関係保護者からは、これまで同様に「子どもたちが喜んで学習に取り組むようになった」、「とてもありがたい」など感謝と喜びのメッセージを多数いただいたところでございます。この多くの声を尊重するとともに学校関係者の方々と協議を重ねまして、今後の「夏休みパワーアップ教室」の運営にいかしてまいりたいと存じます。

次にいじめ問題についてでございますが、いじめが原因とみられる自殺によって、子どもの尊い命が失われる事件がこれまでに全国で起こっており、特に滋賀県大津市の事案は、報道などでも知られているところでございます。子どもたちにとって、本来、安全・安心であるはずの学校でこうした痛ましい事件が起こっている現実は、決してあってはいけないこととございまして、本市の学校現場ではいじめの早期発見・早期対応や未然防止に最大限の努力をされております。本市といたしましてもいじめ問題を始め子どもの深刻な悩みに対する相談活動の充実を図るため、教育委員会に設置している「人吉っ子アドバイザー」の業務を拡充させ、夏休みなどの期間にも子どもたちの相談窓口を開設しながらいじめ問題の解消につながるよう努力しておりますが、更なるいじめをなくす環境整備が必要であると思案しているところでございます。

社会教育関係でございますが、昨年締結いたしました本市と熊本学園大学による包括的連携に関する協定に基づき、生涯学習「ひとよし花まる学園大学」を十月下旬をめどに開設し、秋入学の受講生を募集してまいりたいと存じます。これは、熊本学園大学の「知の集積」を生かし、自治体と大学による新しい生涯学習モデルを作り、地域特性をいかしたオリジナル性のある深い学びを目指すものであります。

また、この事業につきましては中小企業大学校人吉校のご賛同もいただきましたので、本市、熊本学園大学、中小企業大学校人吉校の三者が連携・協力して、地元住民の皆様「人吉球磨の歴史」や「まちづくり・ひとづくり」など、多彩なジャンルの学習の場を提



供し、生涯にわたる学びの意欲に応えらるとともに、地域への愛着と理解を深め、地域活性化につながる人材育成を目指してまいりたいと存じます。

人吉城歴史館でございますが、今回の秋季特別展は、郷土の偉人の一人であります「ジュグリット先生」こと一井正典氏の生涯をテーマに、十月五日から十二月九日までの約二箇月間にわたり開催いたします。渡米して苦学しながらも大志を捨てず、努力の結果、天皇家の侍医まで務めるといふ成功を収めた生き様と、大志の実現を支えつづけた郷土の人々を紹介いたします。この企画を通して次代を担う子どもたちに夢を持つことの大切さを伝えてまいりたいと存じます。

文化振興事業関係でございますが、八月に実施いたしました第六十六回犬童球溪顕彰音楽祭個人コンクール予選を皮切りに、今後も芸術の秋にふさわしい人吉球磨総合美展、人吉文化祭、犬童球溪顕彰音楽祭本選など多彩な文化事業を計画いたしております。また、来る十一月二十五日に開催する音楽の夕べでは、童謡界の第一人者である大庭照子さんとDOYO組をお招きするほか、昨年、好評を博しました球溪合唱団も再結集いたしますので、日本の情景、心の情景を、童謡を通してお孫さんからおじいちゃんおばあちゃんまで、一緒に楽しまれながら、家族の温かい絆を感じるひと時をお過ごしただきたいと存じます。

カルチャーパレス自主文化事業でございますが、去る七月五日、本市では平成九年以来十五年ぶりとなりますNHK「BS日本のうた」の公開録画が実施されました。多数の有名な歌手が出演し、会場は熱気に包まれ大盛況でございました。八月十九日の最初の放送の後も日を置いて数度放送され、開催地・人吉市の名が全国に紹介されたところでございます。今後の事業といたしましては、九月三十日に第四回おどんな日本一・ひとよしのど自慢大会の開催を計画しているところでございます。